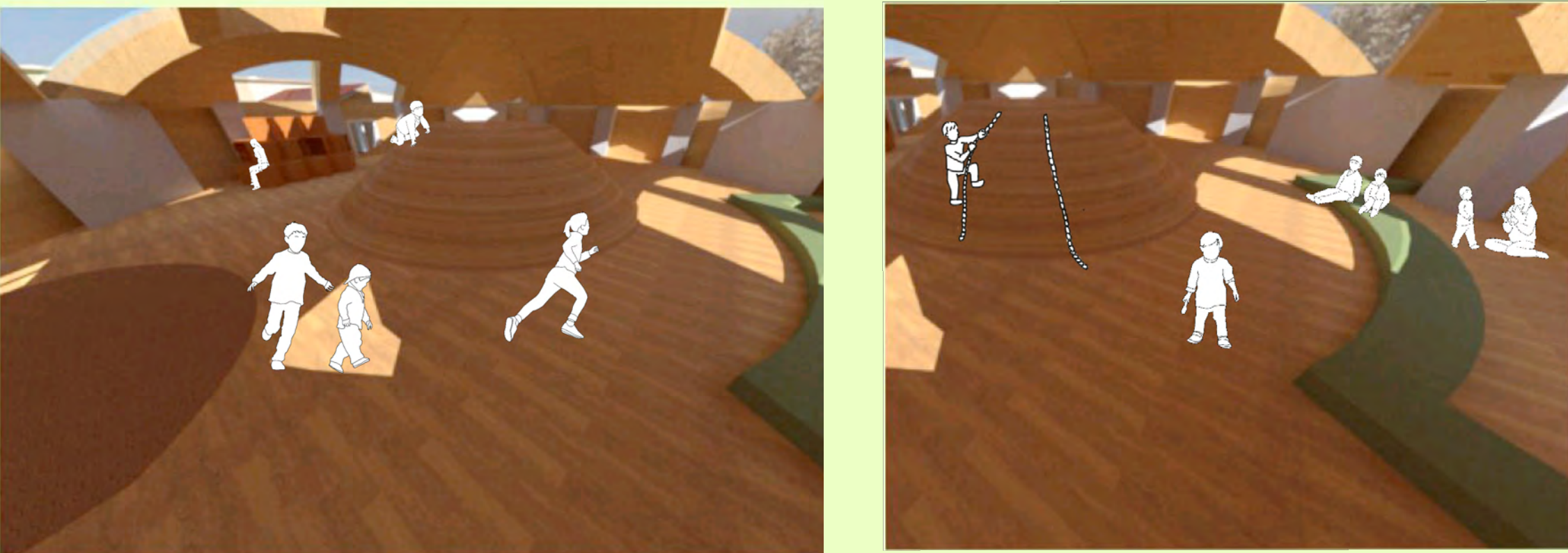


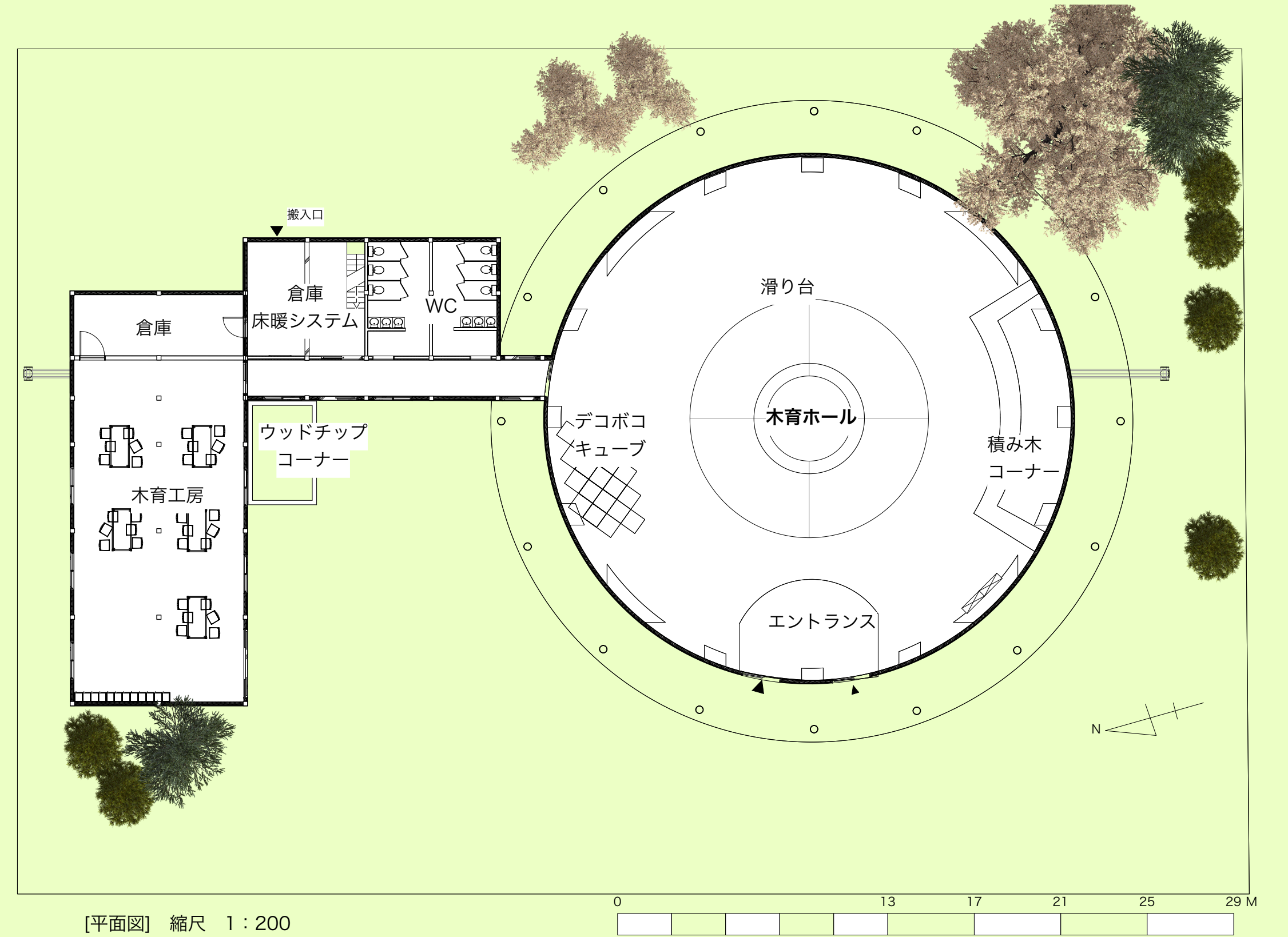


アソビバ~木育の拠点~



木育ホール
滑り台、クライミング、積み木コーナー、でこぼこキューブ、があり運動して楽しみながら五感で木を感じることができる。

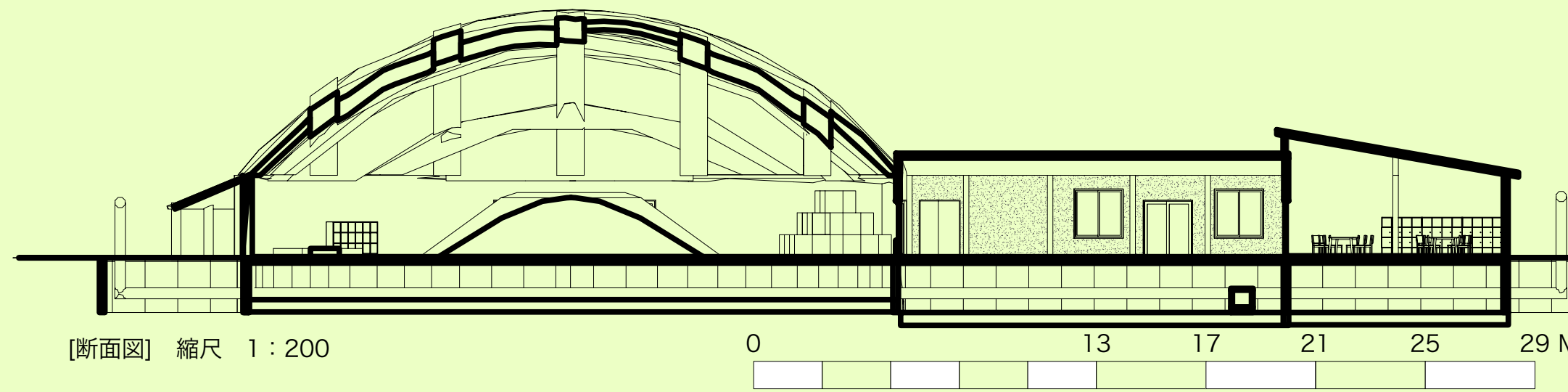
図面



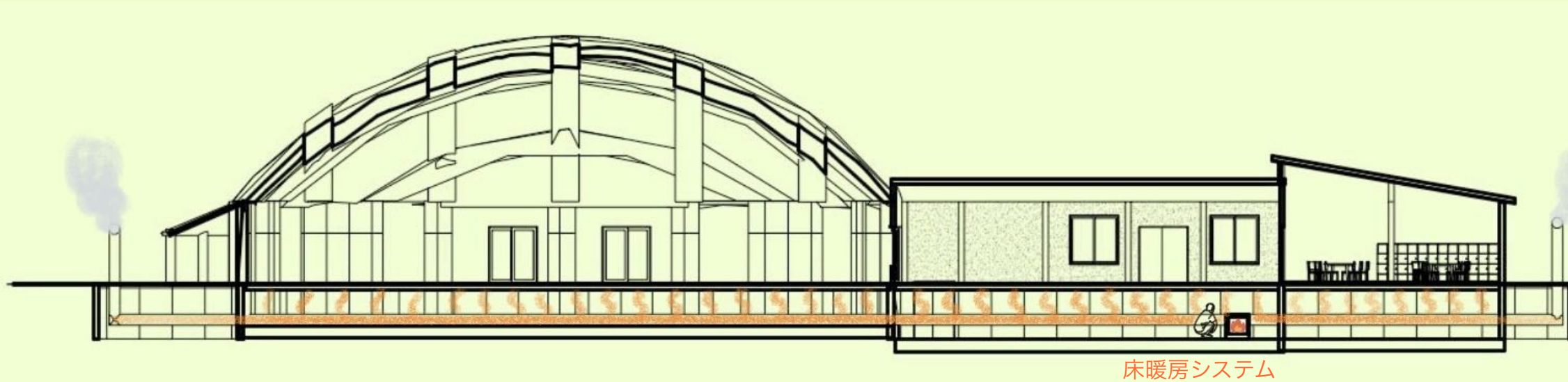
[平面図] 縮尺 1:200



[西側立面図] 縮尺 1:200



[断面図] 縮尺 1:200

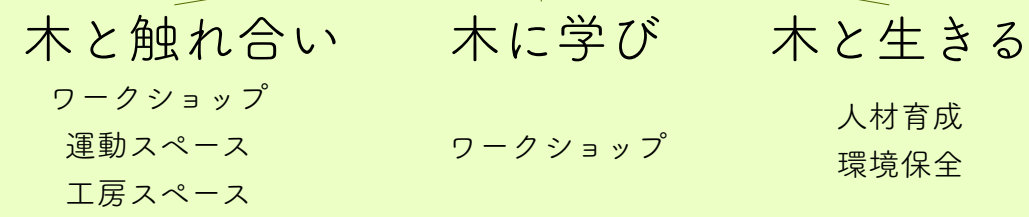


床暖房システム

コンセプト

「大人も子供も楽しめるアソビバ」
この施設は「木育」がテーマである。一見子供向けの教育と捉えられやすいが木育とは木と触れ合い、木に学び、木と生きることを指す。つまり、木育の対象は子供のみならず、大人も含まれる。誰もが木を身近に感じることで、関心を持って様々な知識を得ることができる施設を目指す。さらに、人材育成や環境保全の役割も担っていくことで木育のモデルとなることを期待する。

「木育」



ウッドチップコーナー
工房で出た端材や破損した道具をウッドチップに変換させて、子どもたちが五感で木について知ってもらう機会を作る。



木工房
子どもも大人も家具や木工作を体験できる。また、小中学校と連携して講義を開き、幼い頃から秋田県の豊かさを知り、木についての知識を定着を図る。

設計趣旨

秋田県は国内有数の木材の生産を誇る地域にも関わらず、由利本荘市にはその素晴らしさを学ぶ機会が少ないと感じた。この原因として人々が森から離れて暮らすようになったことが考えられる。かつて人々は、木材を使って家や家具を作り生活してきた。しかしながら、近年は多くの人が便利な生活を求め、森から離れた生活をしているのではないだろうか。そこで、一般市民が気軽に森についての知識を深め、興味を持ってもらうきっかけとなる木育施設を提案する。今回は特に子供達や、親子で楽しめる空間を考えた。

計画敷地



本計画敷地は、秋田県由利本荘市の住宅地の中にある広場の一角である。付近にはスーパーマーケットや、地域の体育館があり、大きな道路に面しているため多くの人が目にしやすい敷地である。こどもの遊び場や親子で楽しむためのツールとして利用してもらうことを期待する。この敷地であればみじかな空間として利用してもらいやすいのではないかと考える。

また、付近の学校と連携し高校生による保育体験の機会を作ることも期待できる。この計画地を選ぶことで由利本荘市の中心地として小さな子供だけではなく高校生、地域の人巻き込んだ取り組みがこの施設を拠点に行なわれ、地域活性化とともに木育の場として周知されると思い計画地とした。

木材利用システム

